

第七十五回帝國議會  
衆議院

船員保險特別會計法案外四件委員會會議錄(速記)第十一回

會議

昭和十五年三月九日(土曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中野 治介君

理事野方 次郎君 理事中野 寅吉君

松尾 三藏君 眞鍋 儀十君

青木 亮貫君 山本 厚三君

田代 正治君 濱地 文平君

太田 理一君 沖島 鎌三君

石坂 豐一君 田中 好君

中村 高一君 小山 亮君

三月四日委員高木泰太郎君死去ニ付其ノ補關トシテ同月八日坂東幸太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ同月八日委員小林房之助君辭任ニ付其ノ補關トシテ青木亮貫君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

拓務政務次官 松岡 俊三君

樺太廳長官 棟居 俊一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

樺太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

○中野委員長 是ヨリ前會ニ引續キ開會ヲ致シマス——田中君

○田中委員 私ハ樺太鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律ニ關シマシテ、簡單ニ二三ノ點ニ付テ御尋ヲシタイト存ジマス、今回

ノ時局ニ當リマシテ、樺太ガ多大ノ資源ヲ與ヘテ吳レタコト、又將來與ヘントシテ吳レコトヲ私共非常ニ感謝スルノデゴザイマスガ、拓殖計畫ナルモノハ既ニ數年前ニ御立テニナツテ居ルモノト、吾々ハ思ウテ居リマスガ、今回ノ事變ニ依リマシテ、日滿支三國ノ經濟提携ヲヤラナケレバナラヌ、其ノ爲ニハ樺太、臺灣、朝鮮ト云フヤウナ各地ニ於キマス所ノ、從來御立テニナリマシタ拓殖計畫ハ此ノ際一遍再吟味ヲセラレマシテ、本當ノ拓殖計畫ノ完遂ニ邁進セラルル必要ガアルノデゴザイマスガ、ソレ等ノ點ニ關シマシテ新規ニ御計畫ニナツタヤウナコトガアルノデアルカドウカ、先ヅ其ノ點ヲ御同致シマス

○松岡政府委員 只今ノ田中君ノ御質問ニ御答致シマス、今次ノ事變ニ鑑ミテ、外地ノ拓殖關係ニ付テ再吟味ノ必要ハナイカト云フ御意見ニ對シテ御答致シマスガ、今回提出セラレタ豫算上ニハ、再檢討ノ意味カラ新シイ計畫ヲ立テテ居ルト云フヤウニハ、或ハ申サレナイカモ知レマセヌガ、南洋方面ニ於テ、或ハ臺灣ノ施設ニ於テ、又朝鮮ノ鐵道ノ施設等ニ於テ、樺太ニ於テハ鐵道問題等ニ於テ、新シイ計畫ハゴザイマスケレドモ、只今ノ御質問ニ相成リマシタ點ニ付テハ、必ズシモ相適シテ居ルトハ申サレナイト私共信ジマス、只今田中君ノ申サレタ點ハ極メテ重要ナル點デアリマシテ、事變ニ伴ウテ從來ノ拓殖行政ノ上カラ、外地ノ關係ノ上カラ見テ、洵ニ再檢討ノ機會到來セリト、斯様ニ信ズル次第デアリマス、是等ノ點ニ付テハ十分ニ考慮致シタイト思フノデアリマスルガ、拓務省內ニモ新ニ調査部ヲ新設致シマシテ、目下是等ノ諸點ニ付テ、著々トシテ進メヨウトシテ居ル次第デアリマス、其ノ外ニ南洋ノ進出ニ付テハ豫算面上ニ現レタ如ク、新ニ南洋局ヲ設置シ、拓殖局ヲ二分シテ、南洋方面ニ對スル特別ナル施設ヲ爲サウトスルコトハ、御承知ノ通りデアリマスケレドモ、全體ヲ通ジテ再檢討ヲスル時ニ達シテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ御指摘ニ對シテハ、全然御同感デアリマス、特ニ樺太ノ重要性ニ鑑ミ、「ソ」聯トノ接觸點カラ考ヘテモ、臺灣其ノ他萬般ニ付テ十分ナル檢討ヲ爲サナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中委員 私が先程質問ヲ致シマシタノハ、實ハ今回ノ豫算ヲ見テミマシテ失望ヲシマシタガ爲ニ、今ノ御尋ヲシタイトデゴザイマス、實際樺太ガ「ソ」聯トノ關係ニ於キマシテ、經濟上或ハ軍事上カラ致シマシテ、ドウシテモモット設備ヲ完成シナケレバナラヌ、斯様ニ思ハレルノデゴザイマスニモ拘ラズ、餘リ新シイ計畫ハナイ、今回御提案ニナツテ居リマス所ノ樺太鐵道ノ買收ニ致シマシテモ、私設鐵道ヲ國有ニ移サレルノデアリマスカラ、一應ハ合理的ノ理由ヲ發見スルノデアリマス、後カラ御質問申上ゲマスル通りニ、斯様ナ既存ノモノニ手ヲ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)  
樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第七〇號)  
樺太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)(第八〇號)

バ、是ハ已ムヲ得マセヌガ、其ノ點能ク民間ノ意見ヲ容レラレルヤウナ調査機關ヲ設置ナサイマシテ、樺太將來ノ爲ニ御計畫下サランコトヲ、私ハ御願シテ置キマス、ソレカラ本問題ノ鐵道デゴザイマス、私樺太ニ關シテハ餘リ知識ヲ持ツテ居リマセヌガ、交通上ノ見地ニ立チマシテ此ノ樺太ノ圖面ヲ拜見致シマスルト、ドウモ西海岸ガ惠マレテ居ナイ、東海岸ガ今ノ所デハ相當發達シテ居ルヤウニ思フノデゴザイマス、當初ノ計畫カラ致シマスルナラバ、恐ラク東海岸、西海岸各併立シテ鐵道ガ北ヘ北ヘト進ンデ行ク方ガ最モ適當ノコトデアラウト思フノデゴザイマス、所ガサウデハナクテ、東ノ海岸ノ方ニ於テハ鐵道ハ延長セラレテ、西海岸ハ途中デ止ツテ居ルト云フヤウナ現狀デアアルノデゴザイマス、是ハドウ云フヤウナ關係デ、斯ウ東海岸ガ前進シ、西海岸ガ後退シテ居ルト云フ關係ニアルノカ知リマセヌガ、臺灣ニ行ツテ見マシテモ、其ノ感ヲ深クスルノデアリマス、臺灣ハ此處ト違ヒマシテ東海岸ガ遅レテ、西海岸ガ鐵道ハ發達シテ居ル、斯ウ云フヤウナ有様デ拓殖上私共ハ臺灣ニシテモ、樺太ニシテモ併立主義ガ行ハレテ居ナイト云フコトヲ非常ニ遺憾ニ思フノデゴザイマス、今日カラ見テ參リマスルト、西海岸ニ於ケル現在ノ鐵道ヲ延長シマシテ、惠須取マデヲ延シテ行クト云フコトガ、最モ肝要デアアルノデハナカラウカ、斯様ニ思フノデゴザイマスルガ、豫算ヲ拜見シテ見マスルト、十五年度ニ百三十萬圓、十六年度ニ二百九萬圓、十七年度ニ百八十九萬圓、十八年度ニ於テ二百三十四萬圓ヲ出シテ、漸ク惠須取マデ鐵道ガ延長セラレル、斯ウ云フヤウナ

緩慢ナリ方ナノデゴザイマス、ソコデ私ノ考ヘル所ニ依リマスルト、現在ノ樺太鐵道ヲ買収セラルルヨリハ、ソレニ要スル金ヲ以テ寧ロ西海岸ニ於ケル鐵道ヲ延長シテ、惠須取マデオ延シニナルト云フコトガ最モ賢明デアアルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデゴザイマス、何トナラバ現在ノ私設鐵道ヲ買収シマシテモ、現在ハ補助ヲ受ケテ經營シテ居ルノデゴザイマスルカラ、買収後ニ於ケル交通狀況モ、現在ノ交通狀況ト私ハ少シモ變リハナイト思フ、變リガナイノナラバ何モ今此ノ際ニ此ノ鐵道ヲ買収シテ、サウシテ最モ必要デアル惠須取ノ延長線ヲ十八年度マデ掛ラナケレバ完成シナイト云フヤウナコトハドウ云フモノデアラウカト云フコトニ疑ヲ持ツノデゴザイマスガ、此ノ點詳細ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松岡政府委員 只今ノ田中君ノ御質問ノ後段ニ關シテハ、樺太長官ヨリ詳細ニ御答辯ヲ願フコトニ致シマシテ、前段ニ付テ少シク御答辯ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、樺太ノ鐵道ハソノ聯ノ國境ニ通ズル本島唯一ノ陸上ノ交通機關デアリマシテ、一朝有事ノ際ハ國防上重大ナル使命ヲ有シテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ此ノ經營ヲ民間ニ任シテ置キマスル爲、車輛、橋梁、軌條、路磐等ノ物的施設ノ方面ニ於テハ、應鐵線ニ比ベマスルト甚ダシク遜色ガアルノデアリマス、殊ニ人的ノ要素、即チ従業員モ少イノデアリマシテ、ソレ等ノ爲ニ設備ノ改善、従業員ノ充實ヲ圖ルノガ目下ノ急務デアリマスルガ、會社ヲシテ強制的ニ改善ヲサセヨウト致シマスルト、資金ノ調達上少カラザル困難ガアルバカリデナク、

又補助金ノ増加ヲ要スルコトナルノデアリマスルカラ、速ニ之ヲ買収シテ設備ノ改善、従業員ノ充實ヲ圖ル要アルノガ、是ガ一ツデアリマス、又樺太鐵道株式會社所屬鐵道ノ終點デアアル敷香カラ氣屯ニ至ル七十五軒バカリノ鐵道ハ、是ハ目下國營トシテ建設中デアリマス、是ガ竣工ノ曉ニハ本鐵道ガ應鐵線ノ間ニ挾マレル、斯ウ云フ關係上、運輸聯絡上少カラザル不便ガアルノミナラズ、經費節約ノ點カラ見マシテモ不利益デアリマスノデ、運輸聯絡ノ整備及ビ合理的經營カラ見テモ、速ニ此ノ鐵道ヲ買収スル必要ガアルノデアリマス、第三番目ニハ元來此ノ鐵道ハ樺太ニ於ケル交通上ノ重要幹線デアリマシテ、政府ニ於テ速ニ敷設スベキモノデアツタノデアリマス、所ガ財政上其ノ他ノ關係デ、一時樺太ノ鐵道ニ代行セシメタモノデアリマシテ、買収時期トシテハ寧ロ遲キニ失スルノ憾ガアツタコトハ、從來カラ何故此ノ鐵道ヲ早く買収セヌカト云フ要望ガ多カツタ點カラシテモ明カナルコトデアリマス、又此ノ鐵道ノ運賃ハ應鐵ノ運賃ニ比較シテ、八分乃至二割五分モ高クナルノデアリマシテ、斯ウ云フ工合ニ八分乃至二割五分高トナツテ居リマスルガ、會社ノ現況ヲ以テシテハ、到底運賃率ヲ低下スル餘裕ガナイバカリデナク、民衆ノ福利増進、地方開發上遺憾ノ點ガ少カラヌノデアリマス、殊ニ應鐵ノ乘客ノ運賃ハ、ソレノ「打切計算」トナリマスル關係上、兩者ヲ通ジテ長距離計算ノ適用モナク、乘客ハ高イ運賃ノ負擔ヲ餘儀ナクサレツツアルノデアリマシテ、樺太開發促進上ニ於テモ速ニ之ヲ買収シテ、統一經營ニ依リ利用者ノ負擔輕減ヲ圖ル必要ガアルト存ズルノデアリマス、右様ノ次第デ、此ノ際速ニ買収シテ設備ノ充實ヲ圖リ、合理的經營方法ニ依ツテ、國防並ニ樺太ノ開發ノ上ニ寄與セシトスル次第デ、買収致ス次第デアリマス、西海岸方面ノ何ガ故ニ後レテ居ルカト云フ御指摘ニ對シテハ、樺太廳長官ヨリ詳細ニ御説明ヲ申上ゲマス

○棟居政府委員 樺鐵買収ノ必要性ニ付キマシテハ、只今政務次官カラ詳細御述べニナリマシタ通りデアリマシテ、私カラ蛇足ヲ附加ヘル必要ハナイノデアリマスガ、鐵道ノ新線ノ建設ノ方ニ主力ヲ注イデ、買収ハ若干後廻シニシテモ宜クハナイカト云フ見方モ、必ズシモ否定出來ナイノデアリマスガ、吾等ト致シマシテハ固ヨリ新線ノ建設ニモ邁進致シマスルシ、同時ニ國鐵代行ノ使命ヲ持チ、樺太拓殖上特段ニ重要ナ役割ヲ持ツテ居リマス此ノ樺鐵ハ、既ニ買収ノ時期ガ遅レテ居ツタト云フ感ヲ抱イテ居ル位ニ、之ヲ早く決行シナケレバナラスト云フコトヲ種々ノ角度カラ痛感致シテ居ル次第デアリマシテ、議會デモ度此ノ點ハ論議サレマシテ、七十二議會ニハ補助法ノ改正ノ際ニ附帶決議マデ附イテ居ルヤウナ次第デアリマス、樺太ノ現在ノ各般ノ情勢カラ見マシテ、此ノ鐵道ノ買収ト云フコトハ一年二年後廻シニスルコトガ到底出來ナイヤウナ狀態ニナツテ居リマシテ、此ノ點ハ現地ノ事情ガ非常ニ切迫致シテ居ルト云フ點ヲ、特ニ御諒承願ヒタイト思ヒマス、新線ノ建設ノ方ハ西海岸ニ於キマシテハ、昭和十二年度カラ十八年度マデノ計畫ヲ以チマシテ、工費千百萬圓バカリデアリマスガ、只今御述ニナリマシタヤウニ、久春内カラ惠須取マデノ百四十二軒

ノ鐵道ヲ著々建設致シテ居リマス、殆ど其ノ工事ノ半バトマデハ參リマセスケレドモ、相當部分ヲ現在完成致シテ居リマス、モウ少シ早ク之ヲ竣功シタラ宜イデヤナイカト云フ御説ニ對シマシテハ吾々モ現在ノ西海岸方面ノ産業其ノ他ノ事情變化ニ伴ヒマシテ、左様ナラザヤハリ抱イテ居ルノデアリマスルガ、何分ニモ勞力資材等ノ關係、又其ノ方面ノ工事ガ相當ニ困難デアリマシテ、思フヤウニ之ヲ抄ラスト云フコトガ非常ニ困難デ難カシイ條件ガアリマス、併シ出來マス限リ之ヲ早く完成致シタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマスガ、中々現地ノ各種ノ事情ガ、ヤハリ工事ノ完成ヲ繰上ゲルコトガ難カシイ狀態ニナツテ居リマス、樺太ハ全面的デ只今拓殖上ノ新段階ニ進ンデ居リマスルノデ、特ニ交通ノ施設ハ之ヲ整備致シタイト云フ計畫ヲ持ツテ居リマス、買収及ビ新線建設併セテ進ミタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○田中委員 御答辯ニ依ツテ分リマシタガ、國防上ノ見地カラ東海岸ノ鐵道ヲ買収シナケレバナラスト云フコトハ分ツテ居リマスガ、本島ノ國防上ノ見地カラ致シマスレバ、現在ニ於キマシテハ私ハ東海岸ヨリ西海岸ノ方ヲ早クオヤリニナル方ガ適當デアルト思ハレル、又接續ノ露領地域トノ關係カラ判斷致シマスルナラバ、先程私ハ申述ベマシタ東西兩海岸ニ於ケル鐵道ヲ並立シテ進行セシムルト云フノガ最モ賢明デアラウ、斯様ニ私ハ思フテ居リマス、今承リマスルト現在ノ私設鐵道ヲ改良スルニ付テハ物ガ不足シテ居ル、或ハ從業員ノ改善ヲ行ハナケレバナラスト云フヤウナ御説明デゴザイマスルガ、是等ハ西海岸ノ惠須取マデ行キ

マスル延長線、之ヲ建設スルニモ同ジヤウナ打撃ガ起ルノデハナカラウカ、資材ガ足ラナイト云フコトハ、會社ガヤラウト樺太廳ガオヤリニナラウト同ジヤウナコトニナルノデハナカラウカ、其ノ理由ヲ以テ此ノ線ヲ西海岸ノ鐵道ヨリハ早く買収シナケレバナラスト云フヤウナ理窟ハナラヌノデハナカラウカ、斯様ニ思ヒマス、政務次官ハ先程氣屯、敷香間ノ鐵道ガ出來ルカラ、ソレト既存ノ廳營鐵道ヲ連絡スル爲ニハ買収スル必要ガアル、斯ウ仰シタルガ、氣屯敷香間ノ敷設ガ完了スルノハ慥カ昭和十八年ト思ツテ居リマス、十八年デ完全ニ行クナラバ、十八年ニ買収セラレテモ宜イデハナイカ、此ノ金ヲ以テ西海岸ノ新線ヲ建設セラレル方ガ國防上ノ點カラ行キマシテモ、經濟上ノ點カラ見マシテモ、私ハ得策デアラウト思フノデアリマスガ、モウ一應此ノ點ニ關シマシテノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○中野委員長 一寸政府委員ニ御願デアリマス、由來大キナ議案、殊ニ鐵道買収ト云フヤウナ莫大ノ代價ヲ拂ツテ買収ル議案ハ兎角國民疑惑ノ的トナリ易イモノデアリマス、現ニ政府關係ノ半官半民ノ新設會社ニ付テ見マスルノニ、石炭鑛業權ノ買収、石炭ノ買入、斯ウ云フヤウナ事務ニ付キマシテモ、相當疑ヲ招クニ足ルガ如キ感ガアツタノデアリマスルガ、是ハ畢竟辯明ノ足ラナイコトモ其ノ原因ノ一ツデアラウト思ヒマスカラ、本案ノ如キ莫大ナル代價ヲ拂ツテ買収スル議案ノ如キハ、此ノ委員會ヲ通ジテ疑惑ヲ一掃セシメタイコトヲ特ニ、委員長ト致シマシテハ念願致シマスル次第デアリマスカラ、許ス附リ詳細ナル御言明ア

ランコトヲ御願致シマス

○松岡政府委員 私任ニ就イテカラ極メテ淺イノデアリマシテ、只今田中君ノ御指摘ニナリマシタ點ニ付テ、就任シテヨリ直グ私自身モ此ノ事ニ付テハ左様ナ感ジヲ持ツタノデアリマス、此ノ金ヲ以テ西海岸ノ方ヲモット充實スル方法ハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ、打明ケ話ヲ申上ゲマスト私自身モ左様ニ感ジタノデアリマシタガ、種承レバ、惠須取方面ノ石炭ノ開發ニ向ツテ非常ナル速度ヲ以テ開發スル爲ニハ、ドウシテモ民間ニヤラセテ、資金關係方面カラ國家トシテ暫ク忍バネバナラヌデヤナイカト云フヤウナ事情ガハツキリ致シタノデアリマス、殊ニ東海岸方面ハ從來屢、議會ノ要望デアリマスノデ、只今申上ゲタヤウナ點カラ考ヘテ、殊ニ敷香カラ氣屯方面、國境方面ニ至ル方面ハ特ニ國防上必要ヲ感ジテ居ルヤウナ次第デアリマス、田中君ノ御説ノ如クニハ私就任致シテ直チニ左様ナ感ジヲ持ツタノデアリマシタガ、能ク事情ヲ盡スニ從ツテ兩全ノ途ニ進ムヨリ外ニナイト云フコトガハツキリ致シタノデアリマス、實ハ自分ノ氣持ヲ率直ニ申上ゲル次第デアリマス、惠須取方面ノ開發ニ付テノコトハ尙ホ詳細ニ樺太廳長官ヨリ御説明アルヨトト存ジマスルガ、十二年ヨリ十八年マデニ百四十二軒ノ此ノ鐵道ノ完成ト相俟ツテ、更ニ國境ニ向ツテノ惠須取方面寄リノ鐵道ハ、中々難儀ナ斷崖ノ間ヲ進ンデ行クニ付テハ、先ツ道路方面カラ作ツテ鐵道ニ及ボスヤウナ計畫ヲ他ニ立テネバナラヌト云フヤウナ、種々ナル事情ヲ承レバ承ル程私モ左様ニ感ジテ參ツタノデアリマス、是ダケヲ私ヨリ御答申上ゲテ置ク次第デアリ

マス

○棟居政府委員 一寸補足ヲ致シテ置キマス、只今敷香カラ氣屯マデノ鐵道ハ昭和十八年度ヲ以テ完成スルカラ、十八年度前後ニ樺太鐵道買収ノコトヲ考慮シテモ、時機ヲ失スルコトハナイデヤナイカト云フ御説デゴザイマシタガ、實ハ氣屯ハ只今ノ所最終點デアリマシテ、途中ニ敷香ト云フノガアリマスガ、此處マデハ十六年度中ニ完成致ス豫定デアリマス、大體ノ所ハ十六年ノ十一月ニ開通ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、實ハ此ノ上敷香ニ鐵道ガ通ジマスコトガ非常ニ重要ナ關係ヲ生ズルノデアリマシデ、一寸此ノ席上デハ申上ゲニクイノデアリマスガ、特ニ此ノ上敷香マデ鐵道ヲ開通スルコトガ東海岸ノ鐵道ノ役割ヲ特ニ重大化スル所以デアルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス、是ハ事機密ニ屬シマスノデ、一寸申上ゲニクイノデアリマス、隨ヒマシテ、本年度中ニ此ノ鐵道ヲ買収ヲ完了致シマセスト、種々ノ點カラ支障ヲ生ズル結果トナルコトニ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス、西海岸鐵道ノ國防上ノ重要性等ニ付キマシテハ、色々ノ見方ガアラウト思ヒマスガ、吾々ノ方ハ只今デハ東海岸ノ鐵道ヲ整備スルコトノ方ガ、軍事上緊急デアルト云フ風ニ、關係方面トノ意見ガ一致致シテ居リマス、有ユル事態ニ備ヘル爲ニ、鐵道ノ建設ト共ニ既設鐵道整備ト云フコトヲ兩々相俟ツテ進ムト云フコトガ、拓殖上其ノ他種々ノ觀點カラ致シマシテ、時期極メテ切迫致シテ居ルヤウニ見デ居リマス、一方ニハ公債ヲ發行シテ買収致スコトニナルシ、一方ハ樺太廳獨自ノ財源ヲ以テ建設致シテ居リマス、改良費ハ大體樺太鐵道買収後千五百

方圓ヲ要スルと思ツテ居リマス、勞力資材トモ相當困難ト存ジテ居リマスガ、是ハ適宜ノ年度ニ分ケマシテヤリマスノデ、之ヲ以テ差支ナイト考ヘテ居リマス

○田中委員 サウ致シマス、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜イノデセウカ、西海岸ノ鐵道ヲ延長スルコトハ事實上不可能ナル、ソレダカラ豫定ノ計畫ニ從ツテ十八年度マデニツクリ掛ツテ行クコト云フ御計畫ト諒承シテ宜イノデゴザイマセウカ、ソレカラ、上敷番ニ何カ言ヘナイコトガアルト云フ御話アリマスガ、速記デモ止メテ内容ヲ一寸御話願ヘレバ大變結構ダと思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○棟居政府委員 西海岸ノ鐵道ガ牛歩的ナ進捗デハナイカト云フ御話アリマスガ、決シテ左様デハナイノデアリマシテ、樺太ノ工事力ノ最善ヲ盡シマシテモサウ進捗致シマセス、決シテ緩慢ナ工事ヲ以テ満足致シテ居ル譯デハナイノデアリマス、種々ノ事情カラ致シマシテ此ノ工事期間ガ適正デアル、斯様ナ計畫ノ下ニ只今工事ヲ進メテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ非常ナ「スピード」ヲ以テ餘計能力ヲ擧ゲマシテモ餘リ多ク望ミ得ナイト考ヘテ居リマス、ソレヨリモ寧ろ惠須取港ノ港灣ノ施設ニ重點ヲ置イテ石炭ノ搬出ニ付テノ集中的ナ設備ヲ致スコトガ急務デアルト考ヘテ居リマス、是ハ十四年度カラ六百五十萬圓ノ豫算ヲ以テ、ヤハリ昭和十八年度ニ完成ヲ致ス豫定ノ下ニ只今工事ヲ進メテ居リマス、港灣ト鐵道ガ丁度十八年度ニ完成ヲ致スコト云フ計畫ニナツテ居リマス

○中野委員長 ソレデハ一寸速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○中野委員長 ソレデハ速記ノ進行ヲ御願シマス

○田中委員 能ク御趣旨ノアル所ハ分リマシタ、私ガ何故西海岸ニ於ケル鐵道ヲヤカマシク言フカト申シマス、慥カ去年ノ委員會デアツタト思ヒマスガ、長官ダツタカ誰ダツタカ志レマシタガ、非常ニ惠須取ノ築港ヲ重要視セシテ、此處カラ石炭ヲ積ンデ羅津、清津ニ持ツテ行クノダト云フヤウナ計畫ヲ持ツテ居ルカラ、此ノ港灣ハ非常ニ重要ナモノデアアル、斯ウ云フヤウナ説明ヲ聽イタコトヲ私覺エテ居ルケデス、ソレ程重要ナ港灣ナラ、現在ノ此ノ西海岸ニアル鐵道ヲ延長シテ行クコトニ依ツテ、其ノ港灣ガ愈々活キテ來ル、斯様ナ感じヲ私シタモノデゴザイマスカラ、西海岸鐵道ノ建設ノコトガ最モ急務デハナカラウカ、斯ウ云フヤウナ感じヲ起シタノデアリマス、今承リマス、十八年度ニ完成スル計畫ヲ進捗中ダト云フコトデゴザイマスカラ、此ノ點洵ニ結構ト存ジマスガ、港灣ヲ拵ヘマスル場合ニ於テ、ドウシマシテモ後方地帶ヲ考ヘナイデ計畫スル、其ノ爲ニ折角莫大ナ費用ヲ投ジテ拵ヘタ港灣モ、中々利用出來ナイ、是ガ内地ニ於ケル弊害デアリマシテ、ヤハリ樺太ニ於テモサウナルノデアリマシカト云フコトヲ懸念スル爲ニ、西海岸ノ鐵道ヲ早クヤラナケレバナラスト云フ感じヲ起シタノデアリマス、ソコデ今一ツ御同シタイコトハ、現在内路ト惠須取間ハ、省營自動車ヲ連絡サレテ居ルヤウニ思ヒマスガ、此ノ區間ノ鐵道ハ港灣修築ト同様ナ年度ニ於テ著手サレルノデアアルカ或ハ港灣ハ出來ルガ鐵道ハマダデアアルカ、或ハ港灣ヨリ先

ニ鐵道ガ出來ルノデアアルカ、其ノ點何等カ計畫ガアリマスカ御説明ヲ願ヒタイ

○棟居政府委員 惠須取ノ背城ノ産業開發狀況カラ、交通ノ整備ニ付テハ樺太廳トシテモ、十分考慮致シテ居ルノデアリマス、惠須取港ノ修築ヲ特ニ明年度ヨリ著手致シマスノハ、全ク背城ニ於ケル資源ノ開發ガ非常ナ速度ヲ以テ進展致シテ居ル、其ノ事態ニ基クノデアリマシテ、石炭ノ積出ヲ目標ト致シタノデアリマスガ、斯様ナ後方地帶トノ連絡ニ付キマシテハ、鐵道ノ外ニ道路網ヲ適宜普及致スコト云フコト相俟チマシテ計畫ヲ致シテ居リマス、惠須取港ニ集中致ス石炭ハ極メテ附近カラ大分出テ參リマス、四百万噸ノ積出能力ノ設備ヲ致ス目標ヲ修築致シテ居リマスガ、只今樺太廳ノ經營致シテ居リマス鐵道ニ、強ヒテ頼ラナクトモ惠須取港ヨリ積出ス石炭ハ、此ノ港ニ集中スルノデアリマシテ、此ノ鐵道ノ完成ト惠須取港ノ港灣ノ價值トハ必ズシモ關係ハナイノデアリマシテ、此ノ鐵道ガ完成致シマスレバ、港灣ノ利用價值ハ一層増大致シマスガ、惠須取港ハ其ノ背城ト必ズシモ連絡スルノデアリト思フノデアリマシテ、寧ろ惠須取港トシテハ、是ヨリ北ニ當ル方面ガ重要ナ背城ニナツテ居リマス、其ノ地方トハ此ノ度此ノ方面ノ炭坑ヲ經營致シテ居リマスル主要ナル會社ト協議ヲ致シマシテ、會社ノ手ニ依ツテ取敢ズ鐵道ヲ建設スルヤウニ致シマシテ、近ク鐵道會社ガ設立サレルコトニ相成ツテ居リマス、ソレカラ内路ト惠須取ヲ結ビマス線ハ、只今ハ「バス」ヲ使ツテ居リマスガ、八十三「キロ」バカリノ「ルート」ニナリマス、之ニ鐵道ヲ建設スルト致シマスレバ、二千萬圓バカリノ工費

ヲ要スルノデアリカト考ヘテ居リマスガ、東海岸ト西海岸ヲ連絡スル鐵道ヲ造ルノハ如何デアラウカ、只今ノ所ハ物資ノ關係其ノ他デ、惠須取港ニ集中スルヨリモ、寧ろ數香ノ方ノ港灣ヲ修築シタ方ガ宜クハナイカト考ヘテ居ルノデアリマシテ、東西兩海岸線ヲ連絡スル橫斷鐵道ヲ完成シナケレバ惠須取港ノ港灣ノ價值ガ不十分デアルト云フ風ニモ思ツテ居リマス、私共ト致シマシテハ只今申上ゲタヤウニ、私設鐵道ノ新設ト道路ノ完備ト云フコトデ、此ノ方面ノ開發ハ出來ル、斯様ニ一應考ヘテ居リマス

○田中委員 上敷番ニ非常ニ重要ナ施設ガ直グ出來ルト云フ見地カラ致シマスレバ、ドウシテモ内路、惠須取港ノ區間ニ鐵道ヲ敷設シナケレバ、軍事上ノ場合ニ於キマシテモ、上敷番カラ内路ニ至ツテ、ソコデ二ツノ交通系統ニ分離サレテ輸送ガ行ハレルト云フノガ最モ適當ト思ヒマスガ、二千萬圓ノ金ガ要ルト云フ御話デアリマスカラ財政上仕方ガナイノデアリマシテ、線路ニ關スル私ノ質問ハ是デ打切りマス

次ニ買收價格ノ問題デアリマス、是ハ地方鐵道法ガ適用サレテ居ルト思ヒマス、隨テ地方鐵道ノ三十一條ニ依ツテ、買收價格ヲ御算定ニナルモノと思ツテ居リマスガ、戴イタ參考書ニハ何モ書イテナイ、サウシテ配布願ヒマシタ書類ニ於テ改良線ガ二百四十五「キロ」ト云フ計算ト、ソレカラ資本金ガ二千萬圓ヲ拂込ミガ七百五十萬圓デアツテ、借入金ガ一千四百八十五萬圓ト云フコトガ明カニナツテ居ルバカリデアリマシテ、地方鐵道法ノ三十一條ニ依ル單價算定ノ標準ト見ルベキモノハ、少シモ御配リニナツテ居リマセスガ、ドウ云フヤウナ標準ヲ以

テ、買収金ヲ算出セラレルノデアルカト云フコト、ソレカラ買収價格ノ總體ヲ御示シ願ヒタイト思フノデアリマス

○棟居政府委員 買収費ノ算出ノ法的根據ハ、只今御示シナリマシタヤウニ、地方鐵道法第三十一條ノ第二項ヲ適用致スコトニナツテ居リマス、尤モ此ノ鐵道ハ決損バカリスルノデアリマシテ、本來ハ三十一條ノ第一項ノ第一號ヲ適用致シマシテ、益金ノ割合ヲ建設費ニ乗ジマシタ金額ヲ、更ニ二十倍スルト云フ建前デ行クベキデアリマスルガ、益金ガアリマセヌノデ、自然第二項ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナツテ居リマスノデ、建設費以內ニ於テ協定シタ金額ヲ以テ、買収價格トスルト云フ建前ガ適用セラレルノデアリマスガ、只今ノ所デハ建設費ヲ以テ買収致スコト云フコトニ豫定ヲ致シテ居リマス、此ノ買収ハ昭和十五年三月三十一日現在ヲ以テ致スコト云フコトニ只今ハ關係方面ト協議致シテ居リマス、アトマダ一年バカリアリマスノデ、此ノ間ニ建設費ガ多少移動致シマシテ、隨ヒマシテ絕對的ニ動カナイ數字ヲ申上ゲル譯ニハ參ラヌノデアリマスガ、大體ニ於キマシテ買収見込額ハ二千三百四十六萬八千圓ニナリマス、之ヲ三分五厘ノ公債ヲ以テ換算致シマス、二千四百二十一萬九千圓バカリニナリマス、表面ノ買収價格ハ二千四百二十一萬九千圓、算定ノ根據ハ只今申上ゲタ通りデアリマス

知リマセヌカラ、或ハ誤ツテ居ルカモ知レマセヌガ、斯ウ云フコトヲ聞イテ居ルノデス、樺太ノ此ノ鐵道ハ元々鐵道敷設ガ本業デヤナイ、事業ヲヤル爲ニ、其ノ事業ノ補助施設ト云フヤウナ意味デ鐵道ハ建設サレテ居ル、隨テ此處ノ鐵道ノ賃金ト云フモノハ非常ニ安いノダ、ソレデアルカラ赤字ガ出テ居ルノダト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、實際左様ナコトガアルノデゴザイマセウカ、内地ノ鐵道省ノ運賃ニ比較致シマシテドノ位ノ運賃ヲ從來會社ハ取ツテ居ツタノデゴザイマセウカ、御分リデゴザイマシタラ其ノ點ヲ明ニシテ戴キタイト思ヒマス

○棟居政府委員 此ノ會社ハ王子系統ノ資本デ建設セラレマシタモノノデ、最初ハ樺太ノ産業ノ太宗ハ森林デアル、隨テ樺太拓殖上ハ森林ノ利用ヲ根據ト致シマシテ總テノ計畫ヲ立テラレタ譯デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、パルプ、隨ヒマシテ王子ノ手ニ依ツテ此ノ鐵道ヲ自ラ建設シテ樺太ノ産業ノ開發ニモ益スルシ、又自己ノ事業ノ經營上ニモ役立タセルト云フ風ナ計畫ノ下ニ、其ノ當時樺太廳デ條件ヲ附シマシテ建設ヲ致シタノデアリマス、ソレデ此ノ鐵道ハ獨リ王子ノ事業ノ爲ニ利用サレルト云フ狀態ヨリ脱シマシテ、一般の客貨客ノ輸送ニ當ル部分ガ段々多クナツテ參ツタノデアリマス、重要貨物モ只今ノ所デハ木材ノ外ハ石炭、パルプノ製品類等デアリマシテ、ヤハリ主トシテ木材ガ大半ヲ占メテ居リマス、運賃ハ、只今運賃ガ安いカラ此ノ鐵道ハ赤字ニナルノデハナイカト云フ風ナ御疑ガアリマシタガ、寧ロソレハ逆デアリマシテ、運賃ハ内地ハ固ヨリ比較的高イ樺太廳

ノ鐵道ニ比ベマシテモ更ニ高率デアリマス、一例ヲ申上ゲマスルナラバ木材ハ樺太廳ノ鐵道ハ二十疋單位デアリマシテ七十八錢、樺鐵ハ九十四錢、十六錢ノ開キガアリマス、石炭ニ致シマシテモ廳鐵ハ六十八錢、樺鐵ハ八十四錢、同ジク十六錢ノ開キガアル、旅客運賃ハ是亦廳鐵ハ八十軒マデノ比較ヲ致シマスルナラバ一圓八十錢デアリマスニ對シテ、樺鐵ハ二圓二十六錢、四十六錢高率デアリマス、總テ左様ナ風ニ相成ツテ居リマス

○田中委員 能ク分リマシタ、最後ニモウ一ツ御尋シテ置キマスガ買収價格二千四百二十一萬圓デスカ、此ノ中ニハ此ノ一覽表ニ書イテアリマスル所ノ百三十九萬圓ト云フ建設見込額、是ハ入ツテ居ルモノト解釋シテ宜シイノデゴザイマセウカ

○棟居政府委員 買収豫定價格ノ中ニハ、只今御示ナリマシタ百三十九萬七千圓ハ包含サレテ居リマス

○田中委員 サウスルト買収前ニ百三十九萬圓ノ金ヲ以テ一應ノ改良ヲ會社ヘサシテ置イテ、其ノ後ニ於テ買収スルト云フ御計畫ニ違ヒゴザイマセヌカ

○棟居政府委員 此ノ建設増加見込額ト申シマスノハ、從來ノ平均實績ニ依リマシタノデアリマシテ、特ニ目立ツタ新施設ヲ致サセル積リデハナイノデアリマス

○中野委員長 中村君

○中村委員 先日大日本發送電株式會社ガ買受契約ヲシタト云フ珍内、内路デスカ、此ノ炭礦ノ賣買ニ付テハ樺太廳ハ何力斡旋ヲサレルトカ、或ハ仲介ヲシテヤルトカ、何等カノ賣買ニ關シマシテ關係ヲセラレタノデアリマス

○棟居政府委員 發送電ガ樺太ノ石炭ニ著目致シマシタノハ、私ノ記憶デハ昨年ノ八月頃ダト思ツテ居リマス、當時發送電ガ非常ニ石炭手配ニ窮シマシテ、色々情報ニ基キタルコトト存ジマスガ、樺太ニ相當量ノ石炭獲得ノ斡旋ヲ依頼シテ參リマシタ、非常ニ困ツテ居ルト云フ狀況ヲ確認致シマシタノデ、各炭礦業者ヲ總動員致シマシテ、約二十萬噸バカリヲ急遽内地ヘ移出致シマシタ、此ノ爲ニ昨年ノ秋ノ發送電ノ石炭ノ手當ト云フモノハ非常ニ助カツタト云フ風ニ聞イテ居リマス、其ノ後電氣廳ノ第一部長カト記憶致シテ居リマスガ、同發送電ノ總務部長ガ樺太ヘ參リマシテ、非常ニ石炭ノ問題ニ付テ苦慮致シテ居ル、就テハ自分デ石炭ノ採掘ヲ經營致シタイ、何カ左様ナ炭礦デマダ未開發ノ部分デ、而モ鑛業權者ノ能力ガ十分デナイ爲ニ殆ド開發ノ見込ノナイモノハナイデアラウカト云フ風ナ御尋デアリマシタ、ソレニ對シテ樺太廳ノ調査ニ基キマシテ是々場所ガマダ未開發デアアル、其ノ凡ソノ埋藏量、或ハ炭質、或ハ稼行ノ條件、其ノ鑛業權者ノ現狀ハ是レノデアルト云フ風ナコトヲ關係當局カラ御答致シタノデアリマス、其ノ後ドウ云フ經緯ニナツタカ私共能ク存ジマセヌガ、珍内及ビ内路兩炭礦ノ賣渡相談ガ始ツタヤウデアリマシタ、ソレハ昨年ノ暮カト存ジテ居リマスガ、大體其ノ契約ガ調ツタ、就テハ愈々事業ヲ始メルカラ、樺太廳トシテモ其ノ事業ノ進行ニ付テ萬般ノ便宜ヲ圖ツテ貴ヒタイト云フノデ、例ヘバ勞力資材デアリマス、ソレ等ニ付テハ十分ニ他ノ炭礦同様ノ便宜ヲ圖ルト云フヤウニ御答ヲ致シテ置キマシタダケデアリマシテ、別ニ

樺太廳トシテハ此ノ炭礦ガ發送電ト鑛業權者トノ間ニ賣買サレタコトニ付テ、所謂商取引上ノ關係ヲ致シテ居ルコトハ絕對ニアリマセヌ、其ノ點御諒承願ツテ置キマス

○中村委員 聞ク所ニ依リマス、珍内ノ方ノ炭山ハ一昨年ノ秋デスカ、持主ノ國澤新兵衛氏ガ高梨耕幣ト云フ人ニ處分ノ依頼ヲシタサウデアリマスガ、結局ノ所巧ク之ヲ賣ルコトガ出來ナイデ、頼マレタ高梨氏モ是ハドウシテモ仕方ガナイカラト言ツテ提出シタ、ソレガ吉村素夫ト云フ人ニ賣ラレタサウデアリマスケレドモ、事實四十五萬圓トカデ賣買サレテ居ルモノガ、發送電會社デハ百五十五萬圓カデ買取ツタト言フ者ガアルノデアリマシテ、非常ニ價格ガ高イ、無論ハ電氣廳デ監督シテ居ル管ナノデアリマセウケレドモ、價格ガ兎ニ角三倍モ高イ、石炭ノ質モ現在ニ於テハセイム、五千「カロリ」位ノモノデアアル、斯ノ如キ不當ニ價格デ發送電會社ガ買取スルト云フヤウナ場合ニ、世間デサヘ噂スルヤウナ不當ニ價值ニ對シテハ、樺太廳ハ事實其ノ炭質、値段、或ハ賣ニ出テ居ツテ中々賣レナカッタ事情ナド御存ジノ筈デアリマスカラ、何等カノ意見ヲ電氣廳ニ言フコトガ當然デハナイカト考ヘマスガ、其ノ點ニ對シテドウ御考ニナラレマスカ、一應承ツテ置キタイト思ヒマス

○樺居政府委員 樺太廳ハ其ノ當時發送電カラ先程御答申上ガタヤウナ事情ノ下ニ、極メテ一般ノ未開發ノ鑛山デ比較ノ入手ノ容易ナ炭礦ハナイデアラウカト云フ御尋ガアリマシタカラ、未開發ノ炭礦ハ是レ是レデアル、其ノ中デ特ニ最近ノ狀況デハ直グ稼行ニ著手スル見込ノナイモノガ二三

アルト云フ、ソレダケノ事情ヲ圖面等ニ基イテ鑛務課長カラ答ヘサセタダデアリマシテ、其ノ後ハ唯二十萬噸ノ石炭ノ手配ニ付テ斡旋ヲ致シタ事件ガアルバカリデアリマシテ、當事者間ニ如何ナル話合ヒガ進ンデ居ルカト云フコトハ、全然關知シテ居ナカッタノデアリマス、其ノ發送電カラ正式ニ愈、樺太石炭鑛業株式會社ナルモノヲ設立スルコトニ相成ツタカラ、其ノ事業ノ取運ビニ付テハ十分ノ援助ヲ頼ムト云フコトデアリマスカラ、國策會社ノコトデアリマシ、又樺太ノ開發ノ爲ニモ相當裨益致シマスノデ、他ノ一般ノ鑛山同様ニ努メテ適正ナル援助ヲ致スト云フコトヲ御返答致シテ置キマシタ、ソレ以外ニ何モ樺太廳トシテハ相談ニモ與リマセヌシ、又進ンデ日發等ニ對シマシテ彼此レノ所見ヲ述ベル機會モナカッタノデアリマス、其ノ點ハ御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○中村委員 日本發送電株式會社ト云フモノガ一民間ノ會社デアリマスルナラバ、只今長官ノ言ハレルヤウニ相談ガナケレバ言フ必要ハナイデアリカト云フヤウナ意味デ差支ナイト思フノデアリマスケレドモ、荷モ國策會社デアリ、サウシテ石炭ノ不足ニ對シテ樺太廳ニ斡旋ヲ頼マレ、而モ樺太廳ノ監督下ニアル炭礦ヲ其ノ國策會社ガ買フト云フヤウナ場合ニ、ソレガ世間デモ餘リニ高過ギルデハナイカト思フ値段デ賣買ガ行ハレタ、其ノ場合ニ樺太廳ガ目ヲツツテ居ツテ、一民間會社ノ取引ト同ジヤウニ傍觀シテ居ラレト云フヤウナコトハ、甚ダ私ハ宜クナイコトダト思フ、荷モ國策會社ガ買取ルト云フヤウナ場合ニハ、事實炭山ノ内容ニ付テ能ク知ツテ居ル樺太廳ガ、

進ンデサウ云フコトニ對スル意見ヲ述ベルコトガ、私ハ國家ノ機關デアアル樺太廳ノ當然ノ義務ダト思ツテ居リマスケレドモ、其ノ點ニ付テハ如何デセウカ

○樺居政府委員 鑛山ノ客觀的ナ種々ノ條件等ニ付キマシテハ、樺太廳モ承知致シテ居ル限リニ於テハ、發送電會社ノ方ニ申上ガテ御參考ニ供シタノデアリマス、併シ如何ナル價格ヲ以テ此ノ炭礦ヲ買收スルノガ適正デアアルカト云フヤウナコトハ、吾々ノ方トシテ一々ノ事件ニ付テハ何等關係致シテ居リマセヌ、固ヨリ非常ニ不當不正ナ價格ヲ以テ賣買サレ、其ノ間ニ法律上ノ問題等ガ起リマスル際ニハ、當然適宜ノ處置ヲ致サナケレバナラスト思ヒマスガ、一般ノ取引ノ場合ニハ、相手が發送電ノ如キ特殊ノ使命ヲ持ツテ居ル會社デアリマセウトモ、又普通ノ營利會社デアリマセウトモ、樺太廳ハ會社左様ナコトニ付テ關係シタ事例ガナイノデアリマス、併シ發送電ガ斯様ナ新炭礦ヲ買收スルト云フ際ニハ、當然遞信省ノ認可ヲ受クベキモノダト思ヒマスノデ、遞信省カラ公式ニ樺太廳ニ御照會ガアリマスカラバ、吾々ノ方デ從來ノ資料ニ基イテ知レル限リノ範圍ニ於テ御參考ニ供シ得ル機會ガアツタコトト思フノデアリマスガ、發送電ノ方カラモ電氣廳ノ方カラモ何等公式非公式共ニ御照會モアリマセヌシ、吾々ノ方ガ意見ヲ申述ベルヤウナ意味ニ於テノ御問合セ等モナイノデアリマス、只今御述ニナリマシタ買收價格デアリマスガ、私達ノ方デモ最近念ノ爲ニ吉村素夫ナル者ニ就テ聽キ質シテ見タノデアリマスガ、只今御述ニナリマシタノト多少違ヒマスノデ、既ニ遞信省當局カラノ御答ガアツタト存ジテ居

リマスガ、御參考マデニ申上ゲテ置キマス、珍内ノ方ハ探掘鑛區一、試掘鑛區十五、出願中ノ鑛區十三デアリマシテ、探掘及試掘鑛區ノ十六ニ對シテ七十五萬圓、出願中ノ十三鑛區ニ對シテ四十萬圓、合計百十五萬圓ヲ發送電ヨリ吉村ニ支拂ツテ居ルト云フコトデアリマシテ、吉村ガ買受ケマシタ價格ハ六十六萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、其ノ間税金等色々ナ費用ガ含マレルノデ、決シテ是ハ不當ナモノデハナイト云フ風ニ一應遞信當局ヨリ御答辯ノアツタコトト記憶ヲ致シテ居リマス

○中村委員 發送電會社ガ買フ直前ニ、今長官ノ言ハレル點ニ於キマシテモ、六十六萬圓デアツタト云フノデアリマスケレドモ、ドウモ吾々ノ目カラ見テハ、直前ニ六十六萬圓デ買ツタモノガ、直グニ發送電會社ガ百十五萬圓デ賣買セラレルト云フコトダケデモ甚ダ不當ニ價格ニ見エルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ、長官ノ考ヘラレル所デハ、別ニ不當デナイト言ハレルノデアリマスカラ、ソレ以上申上ゲテモ意見ノ相違ト言フヨリ仕方ガナイト思フノデアリマス、此ノ問題ニ付テハ他ノ方カラモ既ニ質問ガセラレテ居ルヤウデアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ此ノ程度ニ致シテ置キマス

ソレカラ王子製紙株式會社ノ樺太廳カラ毎年買受ケルコトノ出來ル權利ト言ヒマスガ、木材ノ拂下ヲ受ケル年限ハ昭和二十二年ニ終ルノダト云フヤウナコトデアリマスガ、是ハ一體年限ガ切レルト云フヤウナコトニナリマス、アトハドウ云フ風ナコトニナルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ豫メ御考ガアルト思ヒマスカラ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○樺居政府委員 王子製紙ノ九ツノ工場ニ

對シマシテ、只今供給シテ居リマス「バル  
プ」ノ數量ハ九百三十万石デアリマス、其  
ノ申百五十万石ハ王子系統ノ別會社デアリ  
マスル日本人絹株式會社ニ交付シテ居リマ  
ス、是ハ昭和二十七年マデ期間ガ契約サ  
レテ居リマスガ、其ノ他ノハツノ會社ニ對  
シマシテ供給致シマスル七百八十万石ハ只  
今御示ノ通り昭和二十二年マデ以テ一應契  
約期間ガ滿了ナリマス、其ノ後ノ處置ニ  
付テハ見透シ等ハ、斷定的ニハ申上ガ兼ネ  
マスガ、樺太島内ニアリマス工場ニ對スル  
「バルプ」資材ノ供給ハ、是ハヤハリ依然ト  
シテ確保致サナケレバナラヌト考ヘテ居リ  
マス、樺太ノ王子ノ系統ノ九ツノ工場ハ、  
單ニ王子ノ營利的ナ事業ノ對象トナル以外  
ニ、實ハ樺太ノ住民ガ之ニ相當部分依存致  
シテ生計ヲ營ンデ居リマス、樺太ノ拓殖上  
ノ重要ナル部門ヲ占メテ居リマスノデ、此  
ノ九ツノ工場ノ煙ガ上ラナクナルト云フ風  
ヲコトニナリマス、樺太ノ拓殖ト云フモ  
ノハ一頓挫ヲ來スコトニナリマスノデ、其  
ノ健全適正ヲ運營ノ爲ニハ必要ナル各種ノ  
資材ヲ供給致スト云フコトガ、樺太ノ拓殖  
上ノ見地カラ致シマシテモ正シイ方法デハ  
ナイカト考ヘテ居リマス、九百二十万石ト  
云フモノニ付キマシテハ樺太ノ精力ガ之ヲ  
許シ得ルノデアリマスルカラシテ、其ノ後  
ノ狀態等ハ只今決定ノ申上ガ兼ネマスル  
ケレドモ、是ハ引續キ供給致サナケレバナ  
ラヌモノデアルト考ヘテ居リマス

與ヘルト云フコトモ必要ナコトデアルト思  
フノデアリマスルガ、既ニ其ノ開發ニ對シ  
マスル保障ト言ヒマスルカ、權利ト言ヒマ  
スルカ、一定ノ年限ト云フモノガ來レバ、  
モウソレハ王子製紙會社ニ對シテハサウ云  
フ權利ノ與ヘル必要ハナイヤウニ私共ニハ  
考ヘラレルノデアリマス、年限ガ滿了致シ  
マシテカラ更ニ十年ナリ或ハ二十年ナリト  
云フ風ニ、今マデト同ジヤウニ拂下ノ確保ヲ  
シテヤルト云フコトニナリマスルナラバ、  
是ハ何等カノ代價ヲ求メタルカ、或ハ契約  
ニ際シマシテ當然何等カノ特殊ナ料金ヲ取  
ルノガ當リ前デハナイカト云フ風ニ思ハレ  
ルノデアリマスルケレドモ、サウ云フヤウ  
ナコトニ付テモ何カ御考ガアルデアリマセ  
ウカ

○樺居政府委員 王子ノミヲ偏重シテ、特  
ニ資材ノ供給上過度ナ便宜ヲ與ヘルト云フ  
意味デハ絕對ニナイノデアリマスルガ、既  
ニ確立シテ居リマス製紙事業ニ對シマシテ  
ハ、其ノ經營上必要ナル資材ノ供給ハ、是  
ハヤハリ確保シテヤラナケレバナラナイ  
デハナイカ、唯一應ニ二十年、或ハ二十七  
年ニ年期契約ガ解消ノ形トナリマスルノ  
デ、其ノ後然ラバ更ニ五年トカ十年トカト  
云フ期間ヲ定メテ年期ヲ更新スルカ、或ハ  
毎年々々必要ナル資材ノ範圍ニ於テ供給ス  
ルカト云フ資材處分ノ形式ニ付キマシテハ、  
十分考慮シナケレバナラヌト考ヘテ居リマ  
スルガ、併シ事業ヤツテ行キマスル上ニ  
於テ非常ニ不安定ナル狀態ニ於テノ資材ノ  
供給ト云フコトハ、是ハ樺太廳ノ財政上ノ立  
場カラ申シマシテモ避ケタイト存ジマスル  
シ、又工場經營ノ立場カラ申シマシテモ甚ダ  
其ノ間ニ不安ガアリマス、是ハヤハリ必要

量ハ供給ヲ繼續シテヤラナケレバナラヌト  
考ヘテ居リマス、其ノ形式ニ付キマシテハ  
相當ニハ研究致サナケレバナラヌカト考ヘ  
テ居リマス、尙ホ之ニ對シマシテ特殊ノ料  
金ヲ徴スルカ、其ノ他或種ノ報償ヲ求メ  
ル意向ハナイカト云フ御話デアリマスガ、  
斯様ナコトハ全然スル必要ガナイト考ヘテ  
居リマスシ、又左様ナコトヲ爲スベキデハ  
ナイト考ヘテ居リマス、サウ云フ意向ハ持  
ツテ居リマセヌ

○中村委員 樺太ノ未開墾地ヲ開發サセ  
テ、之ヲ開墾者ニ貸付ケルモノノ中ニ農產  
工藝用地ト云フモノガアルサウデアリマス  
ガ、此ノ農產工藝用地トシテ開墾ヲ許シマ  
シタ場合ニ於テ、其ノ地上ニアリマスル立  
木ノコトニ付キマシテ、其ノ流木ハ土地ト  
一體ヲ成スモノデアルト云フヤウナ、法律  
上ノ議論カラ出發ヲ致シマシテ、開墾ヲ致  
シタ者ト樺太廳トノ間ニ爭ノアル問題ガ起  
ツテ、マダ解決ヲセラレナイモノガアルサ  
ウデアリマスガ、ドウ云フ根據カラサウ云  
フヤウナ爭ニナツテ居ルノデアリマスカ、  
御説明ヲ戴キタイト思ヒマス

○樺居政府委員 只今御述ニナリマシタ係  
爭事件ハ目下札幌控訴院ニ繫屬中デアリマ  
シテ、如何ニ判定サレマスカハ、私ノ口カ  
ラハ何トモ申上ガ兼ネルノデアリマスガ、  
斯様ナ事件ノ起ルニ至リマシタ所以ハ、樺  
太廳ガ農產工藝品用地トシテ拂下ゲマシタ  
土地ノ上ニアル立木ハ、土地ト一體トナツ  
テ、當然土地ノ買受人ノ所有トナルモノデ  
アルカ、或ハ別體トシテ、ソレノ權利ヲ異  
ニスルモノデアルカ、ドウカト云フ極メテ  
簡單ナル點ニ存シテ居リマス、樺太廳ノ從  
來ノ法規上ノ解釋及ビ事實上ノ取扱ト致シ

マシテ、又其ノ當時一般ノ樺太ニ於ケル土  
地及ビ立木ノ賣買等ノ慣習ト致シマシテハ、  
土地ト木トハ別々ニ權利ノ對象ニナルモノ  
デアルト云フ風ニ致シテ居リマス、併シ土  
地ノ持主ニ對シテハ原則トシテ優先的ニ其  
ノ地上ノ立木ヲ賣拂フコトニ致シテ居リマ  
シテ、所謂緣故特賣ト申シテ居リマスガ、  
緣故者ニ特賣ヲスルト云フ建前ヲ執ツテ居  
リマス、併シ是ハ原則デアリマシテ、多少  
ノ例外ハ固ヨリ起リ得ルノデアリマス、左  
様ナ解釋ノ下ニ、又事實上ノ慣習ノ下ニ、  
樺太ニ於ケル取扱ガ殆ド一定致シテ居ルノ  
デアリマシテ、此ノ點ニ付テ偶、問題ガ起  
リマシタコトハ、吾々ト致シマシテ寧ロ不  
思議ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガ  
ラ既ニ事法律上ノ問題ト相成ツテ居リマス  
ノデ、其ノ裁キニ依リマシテ總テノコトガ  
決定致スト考ヘテ居リマス

○中村委員 其ノ點ニ付テ一寸能ク分ラナ  
イノデアリマスガ、樺太ニ於ケル慣習トカ、  
取扱ノ上デハ土地ト立木トハ別ダト云フ風  
ニナツテ居ル、併シ日本ノ民法ニ於テ規定  
サレテ居ル所デハ、立木ハ土地ト一體ヲ成  
スモノダト云フ風ニ解釋サレテ居ル、恐ラ  
ク是ガ理由ニナツテ訴訟ニナツテ居ルノダ  
ト思ヒマス、法律ノ適用ノ點ニ付テ樺太廳  
ノ扱ヒガ明確ヲ缺イテ居ツタ爲ニ、斯ウ云  
フ訴訟ガ提起サレテ居ルノダト思ヒマス、  
民法ノ解釋ガ樺太廳ニ於テ現在ハ實際ニ於  
テ施行セラレテ居ルト思ヒマスガ、施行セ  
ラレテ居ルトスレバ、幾ラ樺太ニサウ云フ  
慣習ヤ慣例ガアツタニ致シマシテモ、法律  
ノ適用ニハ抗スルコトガ出來ナイト思ヒマ  
ス、其ノ點ニ付テ樺太廳デハ法律上ドウ云  
フ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリマセウカ、

其ノ點ヲ一ツ明確ニ御答願ヒタイト思ヒマス

○棟居政府委員 農産工藝品用地ハ特定ノ用途ニ其ノ土地ヲ供用致スト云フ條件ノ下ニ、樺太ノ拓殖ヲ促進スルコト云フ立場カラ設ケラレタ制度デアリマシテ、其ノ用途ニ土地ヲ供用シナカッタ場合ニハ、條件ヲ付シテアリマスノデ、其ノ土地ハ國ニ返還ヲサスト云フ風ニナツテ居リマス、併シ是ハ絶對的ニハ履行サレテ居ナカッタヤウニ思ヒマスガ、左様ナ意味ノ處分ニナツテ居リマス、又其ノ條件ノ中ニ其ノ地上ノ立木ハ國ノモノデアアル、別箇ニ處分スルコト云フコトガ明定シテアルデアリマス、其ノ條件ノ下ニ、又左様ナ用途ヲ指定サレテ土地ノ處分ヲ受ケルデアリマスカラ、當然其ノ時ニハサウ云フ條件ガ附帶シテ居ルコトヲ心得テ第三者ニ轉賣サルベキモノデアラウト考ヘテ居リマス、其ノ間ニ疑ノ生ズル餘地ハナイト考ヘテ居リマス

○中村委員 是ハ訴訟ニナツテ現在控訴中ダト云フデアリマスケレドモ、裁判所側ノ見方ハ一審デハドウ云フ風ニナツテ居ルデアリマセウカ、今長官ノ言ハレル所ニ依ルト、農産工藝品用地トシテ一種ノ條件ヲ付ケテ其ノ處分ヲ許シテ居ルデアアルカラ、問題ハナイト云フデアリマスケレドモ、ソレガ問題ニナツテ居ルデアリマス、裁判所側デハドウ云フ風ニソレヲ解釋致シテ居リマス

○棟居政府委員 最初第一審ノ豊原地方裁判所デハ樺太廳ノ解釋通りニ判決ガ確定致シテ居リマス、只今札幌ノ控訴院ニ繫屬中デアリマスガ、マダ其ノ方面ノ事情等ハ十分承知致シテ居リマセウ、何レニ致シマシ

テモ所謂黑白ガ近ク決マルコト考ヘテ居リマス

○中村委員 ソンナ事件ハ今マデニ起ツタノハ初メデゴザイマセウカ

○棟居政府委員 初メデデアリマス、此ノ事件ダケデアリマス

○中村委員 ソレハ裁判ニナツテ居ルサウデアリマスガ、其ノ點ニ付テハ何レ結束ガ分ルコトト思ヒマスカラ——次ニ國境取締ノ規則ニ關聯ヲ致シテ居ルデアリマスガ、現在國境取締ノ規則ハ樺太ニハ實施ヲセラレテ居ルデアリマス、此ノ國境取締ノ法律ノ規定カラ生レテ參リマシタ一般ノ人ノ入ルコトノ出來ナイ禁止區域ト云フモノガアツテ、一般ノ人ハ許可ガナケレバ無論其處ニハ入ツテ行ケナイ、無斷デ入ツテ行キマスナラバ處罰ヲ受ケルコト云フノハ當然ダト思ヒマスガ、此ノ禁止區域ノ附近ノ人カラ私ノ所ニ言ウテ來テ居リマスモノノ中ニ、斯ウ云フコトガアルデアリマス、其ノ禁止區域ノ中ニ警察ノ分署ガアツテ、且又警察官吏ノ住宅モアル、色々ノ物件ガアツテ附近ノ人達ガドウシテモ其ノ警察ノ分署ニ行カナケレバナラナイト云フコトガ澤山アル、然ルニ禁止區域ノ中ニ入ツテ居ル爲ニ、此ノ罰則ノ適用ヲ受ケテ處罰ヲサレル者ガアツタト云フコトヲ言ウテ來テ居ルデアリマスガ、サウ云フ事實ノアツタコトガアルデアリマセウカ、アリマシタナラバ其ノ點ヲ御示ヲ得タイト思ヒマス

○棟居政府委員 曩ニ御協賛ヲ得マシテ公布ニナリマシタ國境取締法ニ基キマシテ樺太廳令ヲ發布致シマシテ、細則ヲ定メテ居ルデアリマスガ、其ノ中ニハ只今御指摘ニ相成ツテ居リマスヤウニ制限地區ナルモ

ノヲ設定致シテ居リマス、是ハ北緯五十度ノ國境線カラ二十料ノ範圍ヲ指スモノデアリマス、其ノ制限區域内ニ出入致シマス際ニハ、許可ヲ要スルコト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ許可ハ其ノ地方ニ居住致シテ居リマス者ニハ成ベク簡易ナ方法デ許可致スト云フ精神ノ下ニ一種ノ「パスポート」、出入許可證ノヤウナモノヲ交付致シテ居リマス、此ノ出入許可證ノ交付ヲ受ケマスナラバ、ソレヲ適當ニ警察官吏ニ提示致シテ必要ナル方面ニ出入スルコトガ出來ルデアリマスガ、或ハ其ノ手續ヲ踏シテ居ナイ際ニ無斷デ出入シタノデハナイカト思ヒマス、マダ法律及ビ廳令ガ公布勿々ノ際デアリマスノデ、一般住民ニ十分周知サレテ居ナカッタヤウナ狀態ガ若干アツタノデハナイカト思ツテ居リマス、併シ處分致シタト云フコトハ全然報告ヲ受ケテ居リマセウ、處分シタト云フノハ多分叱リ置イタ程度デハナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ詳細取調ベマシテ御答辯致シモ宜イト思ツテ居リマス

○中村委員 之ニハ安別川ノ以北アルノデス、其處ニ警察ノ分署ガアルサウデスガ、是ガ禁止區域ノ中ニ入ツテ居ル、禁止區域ノ中ニ警察ガアルト云フコトニナリマス、今後モ色々面倒ナ問題ガ起ツテ來ルデアリマシカ、警察ニ出入スルノ一々禁止區域ニ入ツテ行カナケレバナラヌトスルト、是ハ一般ノ人民ニ對シテ甚ダ迷惑ダト、斯様ニ考ヘルデアリマスガ、一般ノ人民ニ直接必要ナル事務ヲ扱フ警察ハ禁止區域外ニ置イテ、禁止區域内ニハ特別ニ國境取締ヲ目標トスル警察ヲ置クト云フヤウナコトニシナケレバ、甚ダドウモ附近ノ居民ニ對

シテ迷惑ヲ掛ケルト思フデアリマスガ、是バドウシテモサウ云フヤウニ改メテ貰ハナケレバ一般ノ人ガ困ルト云ツテ居リマスガ、何等カソレニ對シテ對策ヲ講ジテ戴キタイト思ヒマス

○松岡政府委員 事國境ニ關シマスノデ、只今ノ點ハ如何ニモ御尤モダト思ヒマスカラ、能ク調べマシテ左様ナコトノナイヤウニ、法ヲ能ク活用サセ得ルヤウニ、下々ニ能ク諒解出來ルヤウニシタイト思ヒマス

○中村委員 是ハ官吏竝ニ警察ニ關スルコトデアリマスケレドモ、ドウモ樺太廳ニ働イテ居ラレル官吏ノ中デ、決シテ私ハ全部ト申上ゲルノデモナイノデスガ、或ハ警察ニ職ヲ奉ジテ居ル人々ナドノ中デハ、ドウモ評判ノ好クナイ行爲ヲスル者ガ非常ニ澤山アツテ困ルト云フヤウナ意見ヲ吾々モ聞イテ居リマスシ、文書ナドデモ吾々モ所ニ言ウテ來テ居ルデアリマスガ、多少内地ト事情ヲ異ニシテ居リマスコトハ、是モ已ムヲ得ナイコトダト思ヒマスケレドモ、ドウモ警察官ナドノ素質ガ惡イ、モウ一ツハ非常ニ警察官ガ便宜ヲ圖ラウコトニ依ツテ利益ヲ得ラレルヤウナコトガ非常ニ多い、是ガ又警察官ノ素質ヲ惡クサセテ行ク一ツノ理由デモアルヤウニ思ハレルデアリマス、例ヘテ見マスナラバ内地ヨリモ非常ニ許可營業ト云フモノガ多い、請負業トカ、運送業トカ、解業トカ、料理屋業トカ、飲食店業トカ、斯ウ云フヤウナモノニ對シテハ非常ニ許可ノ關聯モアリマシテ、ドウモ納得ノ出來ナイヤウナ取扱ヲスル者ガ澤山アル、中ニハ一人デ三ツモ四ツモ飲食店ヤ或ハ料理店ノ認可ナドヲ取ツテ、サウシテ他ノ人ニ對シテハ反對ニ中々許サレナイト云フヤウナ不公平

シテ迷惑ヲ掛ケルト思フデアリマスガ、是バドウシテモサウ云フヤウニ改メテ貰ハナケレバ一般ノ人ガ困ルト云ツテ居リマスガ、何等カソレニ對シテ對策ヲ講ジテ戴キタイト思ヒマス

ガ非常ニ多イ、是ハヤハリ樺太廳ニ於ケル警察ノ監督ト云フモノガ洵ニ手緩イノダト云フヤウナコトヲ色々事實ヲ舉ゲテ言ウテ出來テ居ルノデアリマスガ、其ノ中デモ例ヘバ警察ナドハ、宴會ヲヤルノデモ二圓位ノ安イ會費デ、オ酌デモ何デモ呼ンデ、相當ナ立派ナ宴會ヲヤツテモ先ヅ大體警察官ノ宴會ハ二圓ダ、樺太デハサウ云フ相場ガアル、而モ料理店ナドデハソレニ對シテ色々ノ關聯ガアルノデ、何トモ言フコトハ出來ナイデ其ノ儘泣寝入りヲシテ居ル、是ハ無論營業ニ關聯ヲ致シテ色々ノ裏面ニ於テ感心ノ出來ナイ事實ガ生ジテ來ル一ツノ理由デアルト思フ、是ハ或ル一人ノ巡查部長ガ轉勤ニナツタ時ダサウデスガ、其ノ錢別ダケガ一人デ二千圓モ貰ツテ行ツタ巡查部長ガアル、斯ウ云フヤウナ工合デ、人ニ依ルト巡查ヲ數年ヤツテ數萬圓ノ金ヲ儲ケタ人ガ、樺太ニハ澤山アルト云フヤウナコトヲ言ウテ來テ居ル者モアルノデアリマスガ、警察官ニ對スル樺太廳ノ取締或ハ監督ト云フヤウナモノニ對シテ、斯ウ云フ事實ガアルトハ無論答ヘラレスト思ヒマスルケレドモ、ドウ云フ風ナ御監督ヲシテ居ラレノカ、餘リ澤山言ウテ來ル者ガアリマスルノデ、此ノ際御答ヲ得タイト思フノデゴザイマス

リハセヌカト思フノデアリマス、外地ニ於ケル官吏ノ任務ハ實ニ重イノデアリマシテ、決シテ内地ト比ベテ云々ト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、外地ニ於ケル者ハ特ニ心シテ就イテ居ルヤウナ次第デアリマス、私ノ信ズル所デハ只今御指摘ニナリマシタヤウナ點ハ斷ジテナクシテ、陛下ノ官吏トシテ十分ニ其ノ任ヲ盡シテ居ルモノト確信致シテ居ル次第デアリマス、併シ前申上ゲマシタヤウニ、何等カ其ノ間ニ自分ノ思フ所ニ行カザルモノハ徒ニ聲ヲ大キクセザルトモ限ラヌカトモ思ヒマスルケレドモ、尙ホ能ク注意ヲ致シマシテ、御指示ノヤウナ點ノナイコトヲ期シタイト存ズル次第デアリマス

ノガアツテ、其ノ交際費ノ中デ半額位ハ監督官、上司ニ贈ツタリ、或ハ飲食費應費ニ使ツテ居ル、内容ハ祕密ダカラ判明ハシナイケレドモ、ドウモサウ云フ事實ガアル、又其ノ交際費ノ或ル部分ハ地方新聞記者ニ與ヘテ居ツテ、是ガ非常ナ弊害ヲ來シテ居ルカラ、市町村ノ交際費ト云フモノニ對シテハ、其ノ使用方法ニ付テ監督ヲ嚴重ニシテ貰フコトガ必要デアル、私ハ實ニ至言デアルト思ツテ政府ニ申上ゲルノデゴザイマス、尙ホ是モ書記ノ話デアリマスルケレドモ、遊興飲食稅ナドモ五割位ハ脱稅サレデ居ノダ、併シ是モ中々嚴重ニヤルコトガ出來ナイ、非常ニ裏面ノ苦シイ事情ガアルノダト云フヤウナコトモ言ツテ來テ居リマス、是ハ直接事務ヲ扱フ者ハ、中々樺太ノ飲食店ナドニ對シテハ、言換ヘマスト力ガ弱イト云フ意味ノ申出ガアルノデアリマスルケレドモ、私ハヤハリサウ云フヤウナ所ニ付テモ、稅ノ取扱ナドニ直接當ツテ居リマスル者ヲ苦マセルコトモ、ヤハリ監督官廳ノ監督ガ不徹底デアルカラダト、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ事實ニ對シマシテハドウ御考ニナリマスルカ、御答辯ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス

天地デアリマシテ、此處ニ人ヲ招致致シマスル上ニ於テハ住ミ良イ所、働キ良イ所ト云フ風ナ條件ヲ具ヘナクテハナリマセヌノデ、樺太ヲシテ眞ニ立派ナ日本ノ領土トシテ建設スルト云フコトニハ、特ニ樺太廳ノ役人ハ責任ヲ痛感致シテ居リマス、其ノ中デ特別ニ民衆ト接觸スル機會ガ多イノハ警察官デアリマスカラ、警察行政ノ執行ニ付キマシテハ、格段ノ指導的ナ注意ヲ致シテ居リマスルガ、併シ中ニハ只今御述ニナリマシタヤウナコトヲ、不慣レ、不注意等カラシテ、或ハ起サナイトモ斷言ハ致シ兼ねマス、併シナガラ只今御述ニナリマシタコトハ、少シ針小棒大ナ風ニモ思ヒマスルノデ、假ニ若シ左様ナコトヲ意識的ニヤツテ居ル事例ヲ發見致シマシタナラバ、直チニ處分致シマス、ソレカラ市町村書記カラノ情報ヲ只今御聽カセニナリマシタガ、是モ少シ私ハ誇大デハナイカト思フノデアリマシテ、最近私ガ參リマシテカラ、相當嚴シク左様ナ點ハ取締ツテ居ルノデアリマス、樺太廳ノ役人ハ役所ノ連中カラデモ接待ヲ受ケテハナラス、況シテヤ監督下ニアル市町村理事者、或ハ吏員カラ然ルベキ應答ヲ受ケルト云フヤウナコトハ、非常ニ個人的ナ場合ハ別デアリマスルケレドモ、公ノ資格ニ於テ斯様ナ席ニ臨ムト云フコトハ、相當私モ嚴シク申渡シテアリマス、ソレハ少シ古イ例デハナイカト思ヒマスガ、最近ニ左様ナコトガ眼ニ餘ルヤウナ風ニ行ハレデ居リマスナラバ、斷乎トシテ處置致シタイト思ヒマス

○中村委員 次ハ樺太ニ於ケル勞働者ノ問題デアリマスガ、從來樺太ノ炭礦、或ハ土木工事、或ハ森林ノ伐採事業等ニ必要ナル

○松岡政府委員 外地ニ活躍シヨウト云フ人ハ、何ト言ヒマスカ、中々意氣軒昂ナ人モアルシ、或ハ又裸一貫デ活動シヨウト云フ方モアリマスルカラ、種々ナル點ニ於テ中村君御承知ノ如ク、何トカシテ便ヲ得ヨウトスルノニ安泰ニ行カナカツタ時ニハ、活躍スル力ノ強イダケニ又之ヲ攻撃スル上ニ付テモ強ク出テ來ルト云フヤウナ點モ、吾

○中村委員 樺太廳ノ直接ノ監督者トシテハ、新タニ發展ヲ致シテ行ク土地デアリマスルカラ、色々ノ困難ノ伴フコトハ無論已ムヲ得ヌ點モアルトハ思ヒマスガ、併シ弊害ガアルカラハ已ムヲ得ヌト云フコトハ斷ジテ言ヘナイ、特ニ新タニ進出シテ行ク者ナドニ取ツテハ、政府デ監督ヲ嚴重ニシテ行カナケレバ、長クカラ其處ニ蟠居シテ居リマシタ者ガ有ユル方面ニ暴威ヲ振ツテシマツテ、新タニ進出シテ行ク者ナドニ對シテハ餘程ノ庇護ヲ與ヘテ行カナケレバ、樺太ノ發展ト云フモノハ期セラレスト思ヒマスカラ、私ハサウ云フコトヲ敢テ強調スルノデアリマス、此處ニモ或村ノ書記ノ話デアリマスガ、唯御參考ニ申上ゲテ御監督ヲ嚴重ニシテ戴クダケノコトデアリマスカラ、書記ダト言ツタカラト云ツテ餘リ目ヲ光ラシテ追及セラレタリナンゾセラレナイヤウニ一ツ御願シタイト思ヒマスガ、樺太ノ市町村ノ豫算ノ中ニハ交際費ト云フモ

○棟居政府委員 先程來警察官ノ職務執行上ノ不注意ト申シマスルカ、種々ノ非難ノアル事柄等ニ付キマシテ御申述ニナツタノデアリマスガ、樺太廳ト致シマシテハ、特ニ警察官ノ素質ノ向上、其ノ平素ノ訓練ニ付テハ最近意ヲ用ヒテ居ルノデアリマシテ、古キコトハ格別ト致シマシテ、事變以來警察官ノ素質ノ改善ト云フコトニ付テハ、主力ヲ傾倒致シテ居ヤウナ狀態デアリマス、國境ノ護ヲ受持ツテ居リマス關係モアリマスルシ、又樺太ハ新

○中村委員 次ハ樺太ニ於ケル勞働者ノ問題デアリマスガ、從來樺太ノ炭礦、或ハ土木工事、或ハ森林ノ伐採事業等ニ必要ナル

○中村委員 次ハ樺太ニ於ケル勞働者ノ問題デアリマスガ、從來樺太ノ炭礦、或ハ土木工事、或ハ森林ノ伐採事業等ニ必要ナル

人夫ヲ、監獄部屋ト稱スル所ニ置イテ、非常ニ虐待ヲスルト云フヤウナコトヲ屢、吾々ハ聞クノデアリマスガ、最近ハ内地ニ於テモ極メテ労働者ノ少イ時期デアリマスカラ、樺太ニ於ケル労働者ヲ得ルニ付テモ、餘程困難ヲ感ジテ來テ居ルノデハナイカト思ツテ居リマス、隨テ一旦連レテ行ツタ労働者ニ對シテハ、何トカシテ内地ニ歸レナイヤウナ方法ヲ講ズルト云フヤウナ必要ガ、又生ジテ來ルノデハナイカト思フ、先日モ東京カラ募集ヲサレマシテ、而モ是ハ東京ノ本所ノ太平警察デ仲ニ入ツテ集メテ行ツタ労働者ノ中デ、モウ苦シクテ死ンデシマフカラト云フヤウナ手紙ヲ私ノ所ニ呉レタ者ガアリマスノデ、内容ガ能ク分ラナイカラ、其ノ手紙ヲ警視廳ニ預ケテ、サウシテ警視廳ノ方カラ直接警察ノ方ニ連絡ヲ執ツテ貰ツテ、數箇月ノ後ニ歸シテ貰ツタ事例ガアルノデアリマスアレドモ、今日デハモウサウ云フヤウナ監獄部屋ト云フヤウナ種類ノモノニ對シテハ、吾々ハナイト信ジテ居ルノデアリマスルガ、ドウモ募集ヲスル時ノ條件ト、樺太ニ連レテ行ツテカラ後ノ條件ト、非常ニ違ヒガアルノダト云フコトモ聞イテ居ルノデアリマスルガ、労働者ノ募集ニ付テハ是非嚴重ナル監督ガ願ヒタイ、斯様ニ思フノデゴザイマス、モウ一ツハ樺太ノ炭礦ノ坑内ノ安全設備ト云フモノガ非常ニ不完全デアアル、内地ノ炭礦等ヨリハ餘程坑内ノ設備ガ不完全デアアル、其ノ爲ニ落盤等ニ依ツテ慘死ヲ致シマスル者ノ數ガ、内地ヨリハ非常ニ率ガ多イノダト云フコトヲ言ツテ居リマスルガ、此ノ點ニ付テモ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデゴザイマス

○松岡政府委員 是ハ御答ニナルカドウカ

分リマセヌガ、私ノ經驗カラ考ヘマス、中村君等ト共ニ、只今ノヤウナ考ヲ持ツ者ニ向ツテ寧ロ教ヘテ行カナケレバナラスノデハナイカト思フノデアリマス、外地ニ行ツテ新開ノ地ヲ拓クト云フコトハ、實際其處ニ足ヲ踏入レテ見タ者デナケレバ分ラナイ難儀ガアルノデアリマス、併シナガラ又同時ニ非常ニ愉快ナコトモアルノデアリマス、少シク答辯トシテ的外レニナルカモ知レマセヌガ、私ノ體驗カラ申シテ、是ハオ互ニ教ヘテ行カナケレバ、東京邊リニ居リマス者ガアノ新開地ヘ行ツテ働ク時ニ、當リ前ノコトヲヤツテ居ツテサヘモ、是ハ忍ベナイヤウナモノニナルノデアリマス、風呂ヘ一週間モ入ラナイデ居ルト云フヤウナコトガ出テ來ルノデアリマスカラ、此處等ノ所ハ餘程心シテ——國民指導ノ上ニ付テ左様ナ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマスカ、併シ今ノ監獄部屋ノコトナド能ク聞イテ居リマスガ、是ハ古イコトデハナイカト思ツテ居リマス、同時ニ國民ノ志氣作興ノ上ニ、一ツ中村君ト吾々ト共ニ教ヘテ行ク、都會地ノ人ニ向ツテ外地ノ拓殖上ニ付テノ愉快サヲ教ヘ、寧ロ反駁的ニ其ノ軟弱性ヲ打破ツテ行ク位ニシナケレバ、外地發展ノ力ガナクナルデアラウ、サウ云フ所カラ吾々拓殖ノ局ニ當ル者トシテハ、サウ云フ方面ニ最モ力ヲ入レテ、或ハ滿洲方面ノ移民等ニ付テモ志氣ヲ鼓舞シテヤツテ行カウト云フ上カラ、特ニ中村君等ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ツテ居ルノデアリマス

○中村委員 松岡次官ハ働ク労働者ニ對スル同情ガ少シ足ラナイノデハナイカト私ハ思フ、志氣ヲ作興シテ大イニ仕事ヲスル、外地ニ向ツテ發展ヲスルト云フ、此ノ必要

ハ吾々モ之ヲ痛感スルノデアリマス、併シ今松岡サンガ言ハレルヤウニ、非常ニ困難ナ仕事ナノデアリマスカラ、困難ナ仕事ニビク／＼スルヤウナコトデハ仕方ガナイノデハナイカト云フヤウナ言葉ノ片鱗モ窺ハレルノデアリマスガ、困難ナ仕事ニ堪ヘルノデアリマスルナラバ、ソレ相應ノ保護ト待遇ヲ好クシテヤラナケレバナナイノダ、志氣ヲ作興シテ大イニヤレト言ツテ見タ所ガ、碌ニ約束シタ金モ呉レナイデ、一週間モ風呂ニ入レナイデ、病氣ニナツタツテ醫者ニモ掛カレナイデ居テ、ソレデ志氣ガ作興出來ルモノデハナイ、志氣ヲ作興シテ大イニ働カセルノニハ、働カセルヤウナ方法ヲ執ツテヤラナケレバナラス、ソレヲ請負師ナンカニ任セテ置イテ、樺太廳ナドハ成ベク見テ見ナイ振リヲシテ置イテ、幾ラ頭ヲ刎ネヨウガ、風呂ニ入レナイデ垢ガ溜ラウガ、病氣ニナラウガ、大イニヤレ、ソナ空元氣バカリ付ケタツテ出來ルモノデハナイ、私ハ斯様ニ考ヘテ居ル、殊ニ東京ノ人ナドヲ連レテ行ク上ニ付テ、募集ノ上ニ付テモツト監督ヲシテ、例ヘバヘ／＼ノ東京ナドニ働イテ居テ餘リ健康デナイ者デモ何デモ、人ガ居ナイモノダカラ色々ナ餌釣ツテ連レテ行ク、是ハ病氣ニナルノハ當リ前デス、連レテ行クニハ連レテ行クダケノ嚴重ナ身體檢査ヲシテヤツテ、向フデ一週間位風呂ヘ入ラナクテモビクトモシナイヤウナ人間ヲ連レテ行クノナラ宜イケレドモ、人ガナイカラ、直グ倒レルヤウナ者デモ、行ケバ仕事ハモウ樂ナモノダト云フヤウナコトヲ言ツテ、金バカリ澤山取レルヤウナ法螺ヲ吹イテ連レテ行クコト云フコトニ對シテハ、私ハ嚴重ニ取締ラナケレバ何

モ出來ナイト思フ、サウ云フ取締ヲシナイデ置イテ、松岡サンノヤウニ志氣ヲ作興サセルノ何ダノト言ツテヤツテモ、ソナコトハ出來ルモノデハナイト吾々ハ考ヘテ居ル、松岡次官ノ御答ハ甚ダ見當違ヒダト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマス

○松岡政府委員 如何ニモ只今ノ御説御尤モデアリマス、前ノコトハ前ノコトトシテ御考ヲ願ツテ、後ノコトハ當局ノ方デモ十分ニ取締ルヤウニ致シマス、本當ニ氣持好ク働カセルヤウニ雇傭者ニ向ツテノ注意等ハ怠ラナイヤウニ致シマス

○棟居政府委員 誤解ガアルトイケマセヌカラ念ノ爲ニ私ハ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、只今御述ニナリマシタ労働者ノ件ハ、多分昨年西海岸ノ方ノ鐵道建設工事ニ當ツテ居ツタ土工ノ問題ダト考ヘテ居リマス、是ハ實ハ東京及ビ大阪カラ「ルンペン」ノヤウナ者ヲ相當大量ニ募集シテ行ツタヤウデアリマシテ、殆ド徒食ノ、労働能力ノ甚ダ貧弱ナ連中ヲ中ニ加ヘテ連レテ行ツタコトヲ後カラ私聞キマシテ、左様ナ労働者ヲ募集スルコトニ付テノ將來ニ對スル警告ヲ發シタノデアリマス、併シ樺太ハ御承知ノヤウニ冬ハ工事ガ出來マセヌノデ、融雪後大體四月カラ十一月マデノ七箇月間ニ一年分ノ仕事ヲスル、隨テ延人員ヨリモ實人員ノ方ニ重キヲ置カナケレバナラス關係上、兎ニ角頭數ヲ揃ヘルト云フヤウナ労働者募集上ノ「ハンデキヤップ」ガアリマスノデ、玉石著シク混淆スルコトガ屢、アル譯デアリマス、取分ケ最近労働者ノ募集難デアリマシテ、中ニハ只今御述ニナリマシタ募集條件ト必ズシモ異ツタ待遇等ハ致シテ居ナイノデアリマスガ、働ク時間ガ長イトカ、或ハ身

體ニ不相當デアルト云フヤウナコトデ、悲鳴ヲ舉ゲテ居ツタヤウナ者ガアリマシタ、是等ノ者ハ其ノ儘不心得ヲ論シテ殘シタ者モアリマスシ、又本人達ノ希望ニ依リマシテ、旅費ヲ給シテ東京方面ニ歸シタ者モアリマス、併シ特別ニ待遇上ニ不當ナル處置ガアツタトハ、私共警察署等ヨリ聞イテ居リマセヌ、ソレカラ鑛山ノ方ノ坑内設備ガ樺太ハ非常ニ劣悪デアルト云フ御話デアリマスガ、是ハ私ハ納得シ兼ネルノデアリマス、樺太ノ鑛山ハ稼行條件ガ非常ニ優秀デアリマシテ、内地ノヤウニ斜坑或ハ堅坑ト云フヤウナモノモ深く掘入レルト云フコトナク、極メテ樂ニ石炭ノ採掘ガ出來ルノデアリマス、隨テ坑内ノ保全上ノ設備ハ内地式デナクテモ十分ヤツテ行ケルノデアリマス、併シ是亦十分ニ業者ニハ注意ヲ致サセマシテ、不祥事ノ起ラナイヤウニサシテ居リマスノデ、樺太ニハ事故ガ多イト云フコトハ全然逆ダト思ツテ居リマス、事故ハ北海道ト比レバ殆ド問題トナラヌヤウニ少イノデアリマス

○中村委員 長官デハ或ハ御分リニナラナイカモ知レマセヌケレドモ、小サイヤウデ事實ハ私ハ甚ダ不滿デアリマスカラ御尋ラスルノデアリマスガ、樺太ノ名好ト云フ所ニ起ツテ居ル問題デアリマス、此ノ名好ノ北小澤ノ第一小學校ノ附近ニ通ツテ居リマス三菱ノ石炭ヲ運ブ鐵道ガアルサウデス、是ガ出願ヲ致シマシタ當時ハ、學校ノ敷地カラ遙ニ遠廻リヲシテ許可ヲ得テ居ルノニモ拘ラズ、愈々事業ヲヤルヤウニナリマシテカラハ、樺太廳ノ許可モ受ケズニ、勝手ニ小學校ノ敷地ノ真中ニ鐵道ヲ通シテシマツテ、此ノ方ガ非常ニ鐵道トシテハ便利ナノ

デサウ云フコトヲ致シタ爲ニ、昨年ノ秋泊居支廳ノ鶴城出張所ノ吏員、官吏ガ三菱ニ抗議ヲ申込シテ、ソレデハ出願ト違フカラ甚ダ困ルト苦情ヲ言ツテ居ルサウデアリマスガ、樺ハズニ三菱ノ方デハ學校ノ敷地ヲ侵害ヲシテ居ツテ、言フコトヲ聞カスト云フヤウナ問題ガアルサウデスガ、私ハ斯ノ如キ橫暴ナ三菱ニ對シテハ、樺太廳ガ認可シタナラバ斷然認可シタ通りノ方法ヲ執ラセテ、勝手ニ認可シテ居ナイ所ヲ、近イカラト云ツテ學校ノ敷地ヲ妨害スルト云フヤウナコトニ對シテハ、嚴重ナ監督ヲシテ貫ハナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、御分リニナツテ居リマスカ

○樺居政府委員 私ハ十分ニ心得テ居リマセヌガ、北小澤ノ小學校ハ三菱自身ノ負擔ニ於テ建設シタ學校デアリマシテ、昨年漸ク其ノ一部ガ完成シ、本年マダ大半ノ工事ヲ殘シテ居リマス、彼處ハ石炭ヲ將來百萬噸位出ス豫定ノ鑛山ヲ中心ニ形成サレル市街地デアリマス、隨テ學校等モ數十學級ニナル豫定デアリマス、自然敷地等モ相當廣ク豫定サレテ居リマスガ、只今ハ其ノ小部分ヲ使ツテ居ル實情デアリマシテ、三菱ガ土木工事用ニ取敢ズ軌道ヲ敷設致シテ市街地ノ建設等ニ當ツテ居リマスガ、固定の設備ハマダ許シテ居リマセヌノデ、學校ノ授業上ニ妨ゲニナルヤウナ場所ヲ通ツテ居ルトハ私承知致シテ居リマセヌ、昨年私ガ彼處ニ參ツテ見マシテモ、サウ云フヤウナコトハ全然私ハ見聞致サナカツタノデアリマス、多少是モ眞相ヲ逸シテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、尙ホ十分ニ調べタイト思ツテ居リマス

○中村委員 關聯致シタノデアリマスガ、ヤハリ是モ樺太廳ガ計畫ヲ致シタ國道ヲ、三菱ノ鑛業事務所トカ、住宅ナドガ、不便ダカラト云ツテ、樺太廳デ造ツタ國道ヲ三菱デ全然變更ヲ加ヘテ、非常ニ急ナ坂ヲ切開イテ、今マデヨリモ餘程交通ノ不便ナ道ヲ造ツテ居ル、是モ三菱ノ橫暴カラ來ルモノデアツテ、樺太廳ノ監督ガ及バナイカラスウ云フコトニナルノダト言ツテ來テ居ルノデアリマス、是モ長官ノ言ハレルヤウニ事實ヲ誇大ニ言ウテ來テ居ルノカモ知レマセヌケレドモ、御聽ニナツテ居リマシタナラバ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○樺居政府委員 只今ノ御話ハ三菱、王子及ビ鐘紡ノ三社ガソレノ炭鑛ヲ經營致シテ居リマシテ、只今西海岸デ炭鑛ノ中心地トナツテ居リマス塔路町ヘ通ズル道路ノコトト存ジマス、是ハ塔路町ガ俄ニ發展致シマシタノデ、從來ハ幅員ノ狹イ所謂農耕道路ト申シテ居リマスガ、部落カラ部落ニ通ズル道路ノ程度ノモノガ國道カラ分派致シテ居リマス、然ルニ最近「トラック」等非常ニ交通ガ激シクナリマシタノデ、此ノ幅員ヲ廣クシテ國道ニ致スト云フ計畫ヲ立テマシテ、町ト會社ノ協力ヲ求メテ、昨年來國道ノ改修ヲ始メマシタ、其ノ國道ノ改修ハ多少坂道ヘ掛ツテ居リマス、併シ今マデノ農耕道路ヲ經由致シマスヨリハ、多少坂道デアリマシテモ幅員ノ廣イ立派ナ道路ヲ通ル方ガ有ユル點カラ見デ便利ナノデアリマシテ、ソレガ爲ニ不便ヲ受ケテ居ルト云フヤウナコトハ、甚ダ理解シ難イノデアリマス

○中村委員 モウ一ツ樺太ノ西海岸ノ國道ニ三菱ナラ三菱ダカラト云フ譯デ、ドウモニ關聯致シタノデアリマスガ、ヤハリ是モ樺太廳ガ計畫ヲ致シタ國道ヲ、三菱ノ鑛業事務所トカ、住宅ナドガ、不便ダカラト云ツテ、樺太廳デ造ツタ國道ヲ三菱デ全然變更ヲ加ヘテ、非常ニ急ナ坂ヲ切開イテ、今マデヨリモ餘程交通ノ不便ナ道ヲ造ツテ居ル、是モ三菱ノ橫暴カラ來ルモノデアツテ、樺太廳ノ監督ガ及バナイカラスウ云フコトニナルノダト言ツテ來テ居ルノデアリマス、是モ長官ノ言ハレルヤウニ事實ヲ誇大ニ言ウテ來テ居ルノカモ知レマセヌケレドモ、御聽ニナツテ居リマシタナラバ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○樺居政府委員 只今ノ御話ハ三菱、王子及ビ鐘紡ノ三社ガソレノ炭鑛ヲ經營致シテ居リマシテ、只今西海岸デ炭鑛ノ中心地トナツテ居リマス塔路町ヘ通ズル道路ノコトト存ジマス、是ハ塔路町ガ俄ニ發展致シマシタノデ、從來ハ幅員ノ狹イ所謂農耕道路ト申シテ居リマスガ、部落カラ部落ニ通ズル道路ノ程度ノモノガ國道カラ分派致シテ居リマス、然ルニ最近「トラック」等非常ニ交通ガ激シクナリマシタノデ、此ノ幅員ヲ廣クシテ國道ニ致スト云フ計畫ヲ立テマシテ、町ト會社ノ協力ヲ求メテ、昨年來國道ノ改修ヲ始メマシタ、其ノ國道ノ改修ハ多少坂道ヘ掛ツテ居リマス、併シ今マデノ農耕道路ヲ經由致シマスヨリハ、多少坂道デアリマシテモ幅員ノ廣イ立派ナ道路ヲ通ル方ガ有ユル點カラ見デ便利ナノデアリマシテ、ソレガ爲ニ不便ヲ受ケテ居ルト云フヤウナコトハ、甚ダ理解シ難イノデアリマス

○中村委員 松岡政府委員 決シテ樺太廳ノ爲ニ辯ズルノデハアリマセヌケレドモ、儼トシテ陛下ノ官吏タルノ責任ヲ遂行スルニ萬遺憾ナキヲ期シテ居ルノデアリマス、尙ホ併シナガラ只今ノ御説ノ如キコトハ、人心ニ及ボス影響モ頗ル大ナルモノガアリマスルカラ、左様ノ疑惑ヲ起サナイヤウニ注意致シタイト思ヒマス

○中野委員長 暫時休憩シテ午後三時半ヨリ再開スルコトニ致シマス  
午後零時四十四分休憩  
休憩ノ儘散會

昭和十五年三月十日印刷

昭和十五年三月十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局